

第 13 期 学会論集執筆要綱

論集編集委員長 高橋美樹

1. お送りいただく原稿について

「日本中小企業学会論集」（以下「論集」と略称）用原稿については、下記のとおりお願いいたします。

お送りいただくものは、①論集原稿 3 部、②報告要旨 3 部、③論集原稿および報告要旨のデータファイルの入った USB です。ただし、

- 統一論題の報告者は、①「論集原稿」（査読を希望しない場合は 1 部）、③「論集原稿のデータファイルの入った USB」、をお送り下さい。
- 自由論題の報告者で査読を希望しない場合は、②「報告要旨」1 部、③「報告要旨のデータファイルの入った USB」、をお送り下さい。

2. 執筆いただく原稿のボリュームについて

- (1) 原稿のボリュームは、①論集原稿が最大 14 ページ、②報告要旨は最大 4 ページです。このボリュームをオーバーした原稿は、失格となりますのでご注意ください。
- (2) 原稿作成にあたっては、以下の事柄をお守り下さい。
 - 原稿は A4 版（縦置き・横書き）でお願いします。
 - 1 ページの行数は 31 行、1 行あたりの字数は 36 文字として下さい。
 - 論集原稿と報告要旨は別々に作成し、それぞれの冒頭にタイトルと氏名・所属を記載して下さい。

※ 原稿のボリュームは、通常の組をした状態（改行、空きマスなどあり）のページ数で計算します。文字数のみの計算ではありませんのでご留意下さい。

3. 図表の取り扱いについて

- (1) 図表は、図と表とに区分し、それぞれに通し番号を打って下さい。本文中での言及においては、これを引用して下さい。
- (2) 図表の大きさは、論集編集の都合上、以下の 3 種類とさせていただきます。図表の内容を考慮してパターンをお選び下さい。
 - A パターン 10 行分
 - B パターン 15 行分
 - C パターン 1 ページ分 (31 行分)
- (3) 図表は原稿本文の後ろにまとめて添付して下さい。また、本文中の図表を挿入する箇所に上記のスペースを確保して、図表番号を指定して下さい。

4. 注釈・参考文献の取り扱いについて

別紙「審査基準の補足について」にもありますとおり、原則として、注釈・参考文献の書式については以下の諸点をお守り下さい。

注釈の場合は（注1）、（注10）のように当該文章末尾の右肩に記入する。

文献引用の場合は引用した文章の末尾に（著者名、出版年、引用箇所のパージ）を記載する。

例示： 「～」（清成忠男、1984、pp.153～154）。

「～」（Williamson, O.E., 1996, p.134）。

この引用文献の書名等は、他の参考文献とともに参考文献欄に記入する。参考文献の掲載順序は著者名のアルファベット順とする。参考文献の記載は、単行本の場合は、著者名（刊行年）書名、出版社名の順で記入する。雑誌論文の場合は、著者名（発行年月）論文名、雑誌名、巻号、当該論文のページの順で記入する。論文末尾に注を先に、次いで参考文献を記載する。

例示：

注

1

2

3

参考文献

- 1 伊藤公一（1999年4月）「『まちづくり3法』と中小企業」『商工金融』第49巻第4号 pp.5～26
- 2 清成忠男（1984年）『経済活力の源泉：日米欧ベンチャー比較』東洋経済新報社
- 3 Williamson, O.E. (1996) *The Mechanisms of Governance*, Oxford University Press.

ウェブサイトから引用する場合は、上記の基準にしたがって論文・文献・資料名を表示したのちに、ウェブサイトのURLと閲覧日を表示する。

例示：

- 1 中小企業庁（2014年）『中小企業白書（2014年版）』pp.100～102

http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H26/PDF/h26_pdf_mokuji.html

2014年11月25日閲覧。

- 2 独立行政法人中小企業基盤整備機構（2014年3月）『中小サービス産業における海外展開の実態と課題』

中小機構調査研究報告書第6巻 第5号（通号32号）pp.100～102

http://www.smrj.go.jp/keiei/dbps_data/_material_/b_0_keiei/chosa/pdf/h25serviceboueki.pdf

2014年11月25日閲覧。

- 3 本多哲夫・藤本迪也（2013年8月）「自治体におけるビジネスマッチング支援利用企業の実態」株式会社帝国データバンク『産業調査分析レポート SPECIA』pp.1～13

<http://www.tdb.co.jp/report/specia/pdf/130803.pdf> 2014年7月1日閲覧。

なお、注や参考文献につきましても、本文と文字の大きさを変えないようにして下さい。

5. その他

- (1) 論文タイトルと執筆者名の英文表記は英文タイトル記入用紙に記入のうえ、原稿、USB ともにお送り下さい。(英文タイトルについては必要に応じてネイティブ・チェックを行い、執筆者と相談のうえ、修正させていただくことがあります。)
- (2) 統一論題論文及び査読を受け合格した自由論題論文は、「論集」のオンラインジャーナル版に掲載することができます。その場合、別途、英文要旨(300 語以内。ネイティブ・チェックを受けることを強くお勧めします。)を提出していただくことになります。詳細は、後日、統一論題論文及び査読を受け合格した自由論題論文の執筆者にのみ通知します。
- (3) 論文執筆指針としまして、別紙「審査基準の補足について」をご参照下さい。